

# おおさか 土地改良広報

141  
号

発行：平成24年11月30日



水土里ネット大阪 は  
大阪府土地改良事業団体連合会の  
愛称です

大阪府中央区南本町二丁目1番8号  
創建本町ビル4階  
大阪府土地改良事業団体連合会  
TEL：06-6121-6789  
FAX：06-6121-6790  
<http://www8.ocn.ne.jp/~daidoren/>

大阪府土地改良事業団体連合会 副会長あいさつ	1
平成24年度 第1回 監事会	2
平成24年度 第1回 理事会	2
平成24年度 第2回 監事会	3
平成24年度 第3回 監事会	3
平成24年度 第2回 理事会	3
第35回 全国土地改良大会	5
大阪府土地改良事業団体連合会単独の提案・要望活動	6
土地改良事業促進に関する意見交換	7
平成24年度 近畿水土里ネット連合協議会総会	8
第6回 大阪府農空間保全地域協議会総会	8
2012 ため池フォーラム in 岩手	9
21世紀土地改良区創造運動「近畿地方大賞」	9
平成24年度 土地改良区等役職員研修会	10
平成24年度 第1回 技術力向上事業研修会	11
平成24年度 第2回 技術力向上事業研修会	12
平成24年度 ため池減災・危機管理研修会	13
平成24年度 換地業務実務研修	13
平成24年度 農地・水保全管理支払交付金研修会	14
2012 オアシス・クリーンアップ・キャンペーン in 滝畑	15
平成24年度 第1回 支部事務担当者会議	15
平成24年度 第2回 支部事務担当者会議	16
支部協議会だより	16
大阪府からのお知らせ	18
一般財団法人 大阪府みどり公社からのお知らせ	19
土地改良施設維持管理適正化事業とは	20
大阪府土地改良事業団体連合会理事の退任	21
土地改良区理事長および農業協同組合長の就任・退任	21
土地改良相談	21
今後の行事予定	21



21世紀土地改良区創造運動大賞 近畿地方大賞受賞地区：貝塚市木積土地改良区の活動

“「遊休農地Oへ」美しい元気な里山復活への挑戦” 農空間の創造トップランナー



若林 主治

紅葉の季節も、いつの間にか過ぎ、日増しに寒さが厳しくなってきましたが、会員の皆様方には、ご健勝にお過ごしのことと存じます。平素より本連合会の活動及び運営につきまして、皆様方には特段のご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

さて、農業農村を取りまく環境は依然として厳しい状況が続いております。農産物価格の低迷や、食料自給率が40%を切る等、これらの問題が解決されないまま、土地改良事業予算の大幅カットがなされ、今後はTPPの交渉がどのようになっていくのか不安がいつぱいで、今後の明るい見通しが展望できない状況であります。

しかし、だからと言って土地改良区の役割が少なくなることがあってはなりません。土地改良区が農家に用水を供給し、施設の維持管理を今後とも善良に行い、地域農業の発展に貢献していくほか、農村が持つ自然環境や景観の保全機能、用水を農地やため池に貯留し災害を防止する機能等、国土保全や地域の活性化等大きな役割も有り、多くの方々が農業農村の発展に期待をしています。

先日、大阪府及びため総協の研修会に於いて、講師の先生が阪神淡路大震災の話をされ、多くの方が亡くなられたのは、地震が直接の原因でなく、火災により逃げられなくなり亡くなられた方が大半で、これは火災消火の水が無かったことにもよるそうです。又一時避難所生活の場に於いて、下水を流す水が不足して大変困ったという話をされておりました。私は、消火や生活のための水が大事であるということを改めて認識いたし、光明池のような水がめが、もし有れば多くの人々の役に立ったのではないかと思います。

私ども光明池土地改良区では阪神淡路大震災の経験から、大阪府が進めている、ため池の対震対策に一早く取り組み、光明池や大野池の対震対策を進め、事業がおおむね完了し、大地震時でも安全となった昨年に、大阪府、和泉市及び光明池土地改良区の三者で地域防災協定を締結いたしました。これは大地震時等で急に都市用水が必要となった場合、優先して農業用水を提供するものであり、そのための施設整備を今後三者で進めていこうと言うものであり、現在他の市からも参加させてほしいとの申し出も受けております。

今後土地改良区は農業農村だけの発展を目指すだけでなく、地域社会にどの様に貢献して行くのか、そのために土地改良区の持つ、ため池や水路等の施設及び水資源をどの様に地域のために活用していくのかと言うことも考えて行くことが農業を守り発展させ、そして地域社会の発展にも間接的に貢献することにつながるものだと思います。

会員の皆様方は、地域で様々な取組をされておられると存じますが、今後も土地改良区ががんばり、地域にさらなる貢献ができるように努力していくことが必要であると思います。そのため、お互い協力しあい知恵を出しあい、必要な予算確保活動を進めていかなければなりません。土地改良事業団体連合会も農業農村の発展は基より地域社会の発展にも、さらなる努力をしてまいりたいと思いますので、会員の皆様方の一層のご協力、ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

## 平成24年度

## 第1回 監事会

日 時：平成24年7月10日(火) 午後2時

場 所：創建本町ビル 大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 案

第1号議案「平成24年度監査計画について」

第2号議案「平成23年度決算監査の結果等について」

本会定款第24条に基づく平成24年度第1回監事会が当連合会の長野代表監事、大野監事、長谷川監事出席、大阪府農政室整備課の中島課長補佐立ち会いのもと開催されました。

監事会では、第1号議案の平成24年度監査計画について審議し、年2回の監査を実施することとし、監査内容について事務局提案通り承認されました。次に、第2号議案の平成23年度決算監査の結果等について審議に入る前に一旦監事会を休会し、平成23年度決算監査に移り書類審査が行われました。監査終了後、監事会を再開し、議案は承認されました。

また、第1回の理事会で長野代表監事が監査結果の報告をすることになりました。



## 平成24年度

## 第1回 理事会

日 時：平成24年7月13日(金) 午前10時

場 所：ホテル大阪ベイタワー 22階 青雲の間

議 案

第1号議案「平成23年度事業報告及び収支計算書並びに財務諸表の承認について」

第2号議案「大阪府土地改良事業団体連合会事務局長の任命にかかる承認について」

本会定款第24条に基づく平成24年度第1回理事会が理事本人出席13名、理事本人欠席3名(代理3名出席)のもと開催されました。又、大阪府から農政室整備課の長谷川課長、木内総括主査に出席頂きました。

理事会では、第1号議案の平成23年度事業報告及び収支計算書並びに財務諸表の承認について事務局説明の後、長野代表監事の監査報告を受け、全員異議無しにより承認されました。引き続き、第2号議案の大阪府土地改良事業団体連合会事務局長の任命にかかる承認について審議に入り、小谷常務理事からの説明の後、原案通り承認されました。

その他事項として事務局から連合会組織の体制、平成24年度業務実施方針や、第35回全国土地改良大会等の今後の行事予定について報告がされました。





## 平成 24 年度

## 第 2 回 監事会

日 時：平成 24 年 10 月 15 日(月) 午後 2 時

場 所：創建本町ビル 大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 案

第 1 号議案「平成 24 年度一般会計収支補正予算の規約第 45 条にもとづく承認について」

本会定款第 24 条に基づく、平成 24 年度第 2 回 監事会が当連合会の長谷川監事、大野監事出席のもと開催されました。又、大阪府から農政室整備課の木内総括主査が立ち会われました。規約第 24 条第 2 項並びに規約第 25 条第 3 項により大野監事が議長に就き議事の進行が行われ、事務局の提案どおり議決されました。

## 平成 24 年度

## 第 3 回 監事会

日 時：平成 24 年 11 月 8 日(木) 午後 2 時

場 所：創建本町ビル 大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 案

第 1 号議案「平成 24 年 9 月 30 日現在の業務の執行状況及び会計経理監査の結果の承認について」

第 2 号議案「平成 24 年度一般会計収支補正予算の規約第 45 条に基づく承認について」

本会定款第 24 条に基づく、平成 24 年度 第 3 回 監事会が当連合会の長野代表監事、長谷川監事、大野監事出席のもと開催されました。又、大阪府から農政室整備課の中島課長補佐が立ち会われました。監事会では 1 号議案に関し、前期の事業、会計経理の執行状況等について、一旦監事会を休会し中間監査の審議に入りました。質疑の後、事務局から“今後も営業努力を重ね、確実な資金計画をたてるよう取組む。”ことを述べて、原案通り承認されました。

引き続き、2 号議案の平成 24 年度一般会計収支補正予算の規約第 45 条に基づく承認についても、事務局の提案通り承認されました。また、11 月 14 日開催の理事会には長野代表監事が出席し報告することになりました。

その他の事項として、事務局より今年度の予算執行見込み等について報告がされました。

## 平成 24 年度

## 第 2 回 理事会

日 時：24 年 11 月 14 日(月) 午前 10 時 20 分

場 所：神安土地改良区 2 階会議室

議 案

第 1 号議案「平成 24 年 9 月 30 日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について」

第 2 号議案「平成 24 年度一般会計収支補正予算の定款第 23 条にもとづく会長決裁の報告と規約第 45 条にもとづく専決処分について」

第 3 号議案「平成 24 年度一般会計収支補正予算の規約第 45 条にもとづく専決処分について」

本会定款第 24 条に基づく平成 24 年度 第 2 回理事会が理事本人出席 9 名、理事本人欠席 6 名（代理 1 名出席）のもと開催されました。

又、大阪府から農政室整備課の長谷川課長、木内総括主査に出席頂きました。

理事会では、第 1 号議案の平成 24 年 9 月 30 日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について、事務局説明の後、長野代表監事の監査報告を受け全員異議無しにより承認されました。

引き続き、第 2 号議案の平成 24 年度一般会計収支補正予算の定款第 23 条にもとづく会長決裁の報告と規約第 45 条にもとづく専決処分について、第 3 号議案平成 24 年度一般会計収支補正予算の規約第 45 条にもとづく専決処分についての審議に入り、事務局説明の後、全員異議無しにより承認されました。

その他事務局より、木村理事が 9 月 2 日付けで退任されたこと、会員の叙位・表彰について、今年度の予算執行見込み、今後の行事予定等について報告をしました。

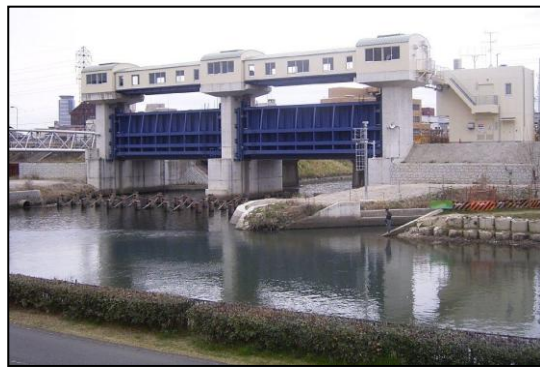


理事会終了後、神安土地改良区田中事務局長、山口参事の案内で、「三箇牧揚水機場」の視察を行いました。水源を淀川とする三箇牧揚水機場は年中安定した水量を確保し、神安土地改良区のほとんど全ての用水地区に送水している。

現在のポンプ場は 3 代目であり、昭和 8 年からの淀川低水工事により、自然取水が困難となり、府営淀川右岸用排水改良事業（昭 21～24 年）でもって築造されたのが初代となる。また、府営三島平野用排水改良事業（昭 38～43 年）で全改修・再築造し、再び下水道関連用排水改良事業でもって築造されたものが、現在の三箇牧揚水機場である。昭和 58 年から約 30 年間稼働している。

引き続き大阪府が管理する番田水門の視察を行いました。

この水門は、神崎川の計画水位に比べ、番田水路の堤防高が低いため、洪水時に神崎川の背水による番田水路からの溢水を防止するために、番田水門は平成 19 年度に完成した施設であり、大阪府職員から番田水路流域の沿革等の説明を頂きました。





## 第35回 全国土地改良大会

仲川理事長 農林水産大臣表彰受賞

田中理事長 全国土地改良事業団体連合会会長表彰受賞



農村振興における農業農村整備事業の役割を広くアピールすることを目的に、第35回全国土地改良大会・沖縄大会（全国土地改良事業団体連合会、沖縄県土地改良事業団体連合会主催）が21日、「水土里（みどり）豊かな守禮の邦 美（ちゅ）らさん真心 おーきな和」をテーマに3日間の日程で開幕した。同日、那覇市の県立武道館で式典が開かれ、全国47都道府県の行政、土地改良関係者ら約2,500人が参加。地域農業の再生へ向け、農村の環境保全の持続などをめざすとした大会宣言を採択されました。

大阪府からは、2泊3日の行程で77名が参加しました。大会は沖縄の本土復帰40年の記念事業として位置付けられ、展示ブースには21世紀土地改良区創造運動大賞受賞地区の紹介コーナーが設けられ、大阪府からは平成23年度大賞受賞の堺市鉢ヶ峯土地改良区のパネルが展示されました。

式典では開会宣言、国家斉唱の後、開催県を代表し沖縄県土地改良事業団体連合会の古謝会長（南城市長）の挨拶に続き、主催者を代表し野中広務全国土地改良事業団体連合会会長の挨拶、農村振興局次長、沖縄県知事から祝辞の後、土地改良事業功績者として、農林水産大臣表彰に松原市三宅町土地改良区の仲川植司理事長ら6氏を表彰。また、全国土地改良事業団体連合会会長表彰は堺市陶器北土地改良区の田中宏理事長が受賞されました。



会場には東日本大震災後の東北地方の農地復興事業や、沖縄県内の畜産基地建設、かんがい整備事業などを紹介するパネル展示もあり、参加者らの関心を集めていました。



## 〈大阪府土地改良事業団体連合会単独の提案・要望活動〉

実 施 日 平成 24 年 6 月 26 日(火)  
提案要請先 民主党大阪府総支部連合会  
提案要望の要旨 平成 25 年度概算要求にあたり、農業農村整備事業費の確保と都市周辺の農業生産、農地や農業水利施設の整備等について

実 施 日 平成 24 年 7 月 11 日(水)  
提案要請先 全国土地改良事業団体連合会、農林水産省、国会議員（大阪選挙区選出）  
提案要望の要旨 平成 25 年度概算要求にあたり、農業農村整備事業費の確保と都市周辺の農業生産、農地や農業水利施設の整備等について

国の平成 25 年度概算要求に際し、7 月 11 日に若林副会長、辻理事（和泉市長）、小谷常務理事以下総勢 9 名の理事と、事務局長が上京し、予算確保や事業支援等の要望活動を行いました。

1 日目は農林水産省において、農村振興局次長はじめ農村政策部長、整備部長、設計課長はじめ関係各課長に対し大阪の現状や課題について述べるとともに、予算の拡充・継続の要請を行いました。



要望の内容については次のとおり。

### 1 農業体質基盤強化整備促進事業について

- ① 事業予算の増額
- ② 平成 26 年度以降の事業継続
- ③ 対象地域を知事が条例により指定した保全地域へ拡充

### 2 土地改良活動強化事業

- ① 土地改良活動強化事業の創設

土地改良区活動強化計画を土地改良区が作成。

事業主体は土地改良区とし、事業費 200 万円を上限、1/2 を国が補助。

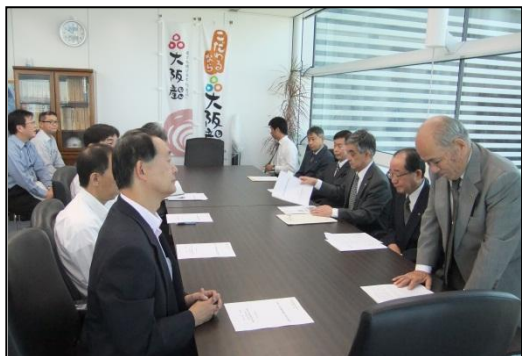
### 3 小水力等農村地域資源利活用促進事業

- ① 平成 25 年度以降の事業継続、予算の拡充及び制度拡充。





実 施 日 平成 24 年 10 月 9 日(月)  
提案要請先 大阪府環境農林水産部  
提案要望の要旨 農空間整備事業予算の増額、事業支援等について



大阪府の平成 25 年度当初予算編成に際し、吉川会長、若林副会長、小谷常務理事が、中村大阪府環境農林水産部長に対し、北宅農政室長、長谷川整備課長同席のもと、農空間整備事業予算について、予算の増額や事業支援等の要望を行いました。

中村部長から、農政において「農空間の保全と活用」「地域のコミュニティづくり」が重要な施策であると考えているとのご挨拶の後、当会はため池や水路

の施設の維持管理はもとより、遊休農地の解消を目指し農地の貸し借りを進める土地利用調整や農業体験を通じて地元小学校小学生へ教育面で貢献するなど、農業の生産活動や地域資源を活かして地域を育む活動を推進しているが、老朽化が進む用水施設の更新費用の多額な将来負担など、公的な活動を積極的に進めるべく、特に次の 4 点を要望しました。

- 1 農空間整備事業予算の増額
- 2 ため池の総合減災を進める予算の確保
- 3 再生可能エネルギー利用支援事業の創設
- 4 土地改良区の活動強化のための支援



## 〈土地改良事業促進に関する意見交換〉

実 施 日 平成 24 年 7 月 26 日(木)、8 月 6 日(月)  
意見交換の相手 八尾市 田中誠太市長、柏原市 岡本泰明市長、東大阪市 野田義和市長  
提案要望の要旨 今後の土地改良活動について

これからの土地改良活動について、吉川会長が市役所を訪問し、7 月 26 日(木) に八尾市の田中誠太市長、柏原市の岡本泰明市長、8 月 6 日(月) に東大阪市の野田義和市長と意見交換をしました。

会議には、大阪府中部農と緑の総合事務所の諸岡所長、青山地域政策室長にもご参加いただき、7 月 26 日は、木村理事、長野代表監事、小谷常務理事が同席、8 月 6 日には、木村理事、西田理事、小谷常務理事、前田楠根川沿岸土地改良区理事長が同席して、活発に意見交換をしました。

当会からは、土地改良区と地域が一体となり、農地や水利施設の整備はもとより、地域の主体性を活かした農地を守る活動を積極的に進めることを述べ、市長から土地改良区の活動について、様々な要望をいただきました。



## 平成24年度 近畿水土里ネット連合協議会総会

日 時：平成24年6月25日(月) 午後3時

場 所：淡路市 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

農業農村整備の円滑な推進のために、近畿6府県の土地改良事業団体連合会の相互連絡、事業の普及及び発展に寄与する目的で組織されています。

総会は、当番県の水土里ネット兵庫の西村康稔会長の挨拶に始まり、来賓の近畿農政局整備部 尾崎明久部長、農村計画部 島田英俊部長と兵庫県農政環境部 伊藤聡部長の祝辞の後、西村会長が議長となり議事に入りました。

なお、大阪府から農政室整備課 長谷川課長、当連合会からは吉川会長、小谷常務、大塚事務局長の3名が出席しました。

(総会議案)

- (1) 平成23年度事業実施報告及び収支決算について
- (2) 平成24年度事業計画及び収支予算(案)について
- (3) 国への政策提案について
- (4) その他



議案を原案のとおり承認するとともに、「平成25年度近畿の農業・農村の振興に関する提案書」について、農林水産省、財務省、国会議員、全国土地改良事業団体連合会へ要望活動を行うことを決議して閉会しました。

翌6月26日(火)は、淡路市の水土里ネット五斗長(ごっさ)の事業活動、北淡震災記念公園野島断層保存館、あわじ花さじきにおいて「あわじ花さじきと土地改良事業」について概要説明を受けました。

## 第6回 大阪府農空間保全地域協議会総会

農地・水・保全管理支払交付金事業の実施主体である「大阪府農空間保全地域協議会」の第6回通常総会が、平成24年6月5日(火)大阪府赤十字会館4階401会議室で午後2時から開催されました。

総会は、小谷農空間保全地域協議会会長の挨拶の後、会長が議長となり議事に入りました。会員数10団体に対して代理出席を含めて9名の会員が出席し、下記議案について審議されました。



- (議 案) ・第 1 号議案 「大阪府農空間保全地域協議会規約の一部改正について」  
・第 2 号議案 「大阪府農空間保全地域協議会諸規程の一部改正について」  
・第 3 号議案 「平成 23 年度事業報告及び一般会計収支決算について」  
・第 4 号議案 「平成 24 年度事業計画及び一般会計収支予算について」

平成 19 年度に始まりました『農地・水・環境保全向上対策事業』は、平成 23 年度に『農地・水保全管理支払交付金』と名称を変更し 1 期対策としての 5 年間が終了し、今年度より 2 期対策としての 5 年間が継続されることになりました。

平成 24 年 4 月 6 日付けで国の要綱、要領が改正されたため、それに伴う協議会規約及び諸規程の改正案が議題の中心でした。

## 2012 ため池フォーラム in 岩手

### 東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて ～ “結い” の精神をため池に学ぶ ～

2012 年ため池 in いわて「東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて」～ “結い” の精神をため池に学ぶ ～ が、平成 24 年 7 月 19 日(木) 午後 2 時 30 分から、岩手県盛岡市の盛岡市民文化ホールにおいて、岩手県、水土里ネットいわて、県内市町村等の主催により開催されました。

大会は、ため池から“結い” の精神を学び、将来にわたって、ため池が保全・活用されるとともに、東日本大震災津波から、ふるさとが力強く再生・創造されることを目指して開催されました。

全国から多数参加される中、当連合会からは、若林副会長はじめ、5 名が参加しました。

株式会社八木澤商店会長の河野和義氏による「ふるさとには負けない」と題した基調講演の後、地域をみんなで守る活動が続けられる方々によるパネルディスカッションが行われました。18 日は、現地見学会が開催され、当連合会は震災で大きな被害被った陸前高田市街地と大船渡市街地、そして、先人が高台に移転したため、人的被害が最小限にとどまった大船渡市吉浜地区を視察しました。

## 貝塚市木積土地改良区が 21 世紀土地改良区創造運動「近畿地方大賞」を受賞

### 「遊休農地 0 へ」 美しい元気な里山復活への挑戦 農空間の創造トップランナー

平成 24 年 9 月 12 日(水) ホテル ルビノ京都堀川において開催された 21 世紀土地改良区創造運動大賞近畿地方選考委員会において、貝塚市木積土地改良区が近畿地方大賞を受賞されました。



当改良区は、平成14年 ほ場整備完了後、地域農家の高齢化等で遊休農地が拡大し、その対策に苦慮していたが、平成18年にBDF利用促進事業（遊休農地を活用した菜の花栽培）への取組を契機に、遊休農地対策活動を本格化させた。平成20年に大阪府が施行した「大阪府農業農空間条例」に基づく「農空間保全地域制度」を活用し、利用権設定による若手の新規就農者や企業、民間NPOへの農地の貸し出しを積極的に進めたほか、平成23年には水土里ネットが事業主体となり、遊休農地を使って市民農園を開設するなど、地域一帯となった取組の結果、約5.8haの遊休農地を解消されました。

土地改良区はじめ、地区全体の地道な遊休農地対策の結果、若手や女性が農業に参入し、平日に営農の姿が日常的に見られるなど、地域に活気が戻りつつあり、地元農家の営農意欲も高まってきている。このような地道な活動や取組と着実な成果に対し、選考委員はじめ、近畿農政局農村計画部長からも非常に高い評価を受けました。



## 平成24年度 土地改良区等役職員研修会



土地改良区の役職員の皆様に共通する改良区運営上の諸問題について、理解を深めて頂き、土地改良区の運営が円滑に推進するように研修を行うことを目的に、平成24年度土地改良区等役職員研修会が平成24年8月22日(月) 午後2時30分から「ホテル大阪ベイタワー4階 ベイタワーホール」において、155名の参加のもと盛大に開催しました。



吉川会長、大阪府環境農林水産部の北宅農政室長の挨拶の後、近畿農政局農村計画部土地改良管理課 森課長による「土地改良区を取り巻く情勢について」東日本大震災の発生など、農業、農村を取り巻く情勢が大きく変化したことから、食料生産の体質強化、震災復興及び防災、減災力の強化、農村の協同力や地域資源の潜在力を活かしたコミュニティーの再生の3つを政策課題として、現行の計画を1年前倒しで策定された「新たな土地改良長期計画」についての説明、続く「土地改良区の現状と体質について」では、



土地改良区等に関する不祥事件の未然防止について＜平成20年8月20日農振第975号農村振興局長通知＞では、財務状況の適正な把握・組合員等に対する説明責任からも複式簿記導入の必要性等について講演をいただきました。



続いて、大阪府府民文化部人権室の尾崎元伸主査による「人権への気づき」と題し、さまざまな人権問題の実例に基づき、なぜ、こういった人権問題が起こるのか、その原因として「思い込み・偏見」が行動として現れたものであり、日頃から相手の立場に立って、思いやりを持って接する事の大切さを再認識させる内容の講演をいただきました。

最後に特別講演として小河保之大阪府副知事から「大阪府雑感」と題し、グランドデザイン・大阪（大都市・大阪の将来像）の実現へ向けた基本方針、実現に向けた推進体制や具体的な構想（象徴的な対象エリア、インフラ活用・整備）の説明や新組織内での会議内容等裏話もユーモアを交えた講演をいただきました。



## 平成24年度 第1回技術力向上事業研修会

会員への情報提供と会員の農業土木技術の向上を図ることを目的に、平成24年度第1回技術支援研修会が平成24年7月24日（火）午後1時30分から大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）5階特別会議室において、105名参加のもと開催しました。



小谷常務理事挨拶のあと、近畿農政局整備部防災課 査定官 中萩清秀様から「東日本大震災のその後と近年の災害について」と題し、査定官が現地で得られた被害状況について、多くの記録写真の解説をいただきました。







引き続き、(一財)大阪府みどり公社環境チーム サブマネージャー 高見勝重様から「小水力発電について」と題し、小水力にとどまらず、再生可能エネルギーであるソーラー、水力、風力、地熱、バイオマスエネルギーについても造詣深い講義を頂きました。

最後の講演は「農業用ポンプの維持管理と更新技術」と題し、株式会社電業社 機械製作所大阪支店 技術グループ グループマネージャーの石倉武志様に、講演いただきました。農業用ポンプがどのような場所で活躍しているか。またポンプの種類や構造の違いについて、解りやすい図解を用いて説明され、受講者の理解を深めることができました。



## 平成24年度 第2回技術力向上事業研修会

平成24年度第2回技術支援研修会は、平成24年10月11日(木)から12日(金)の2日間にかけて、大阪歴史博物館において、延べ20名の参加のもと開催しました。まず、はじめに小谷常務理事から、かねてより切望していたCAD技術研修、また、会員から要望の多かったCAD研修の開催にあたり講師選定や具体の企画についての難しさ等、開催にあたり、近畿農政局土地改良技術事務所の格別なご協力に対するお礼をのべました。

また、この研修は定員に限りがあり、やむなく人数調整を図った事に対するお詫びと今後、条件を整えたうえで、この研修会を毎年開催に向け努力する旨を伝える挨拶がありました。



## 平成24年度 ため池減災・危機管理研修会

平成24年10月31日(水) 午後2時から岸和田市立波切ホールにおいて、「平成24年度ため池減災・危機管理研修会」(主催:大阪府泉州農と緑の総合事務所 後援:大阪府ため池総合整備推進協議会・大阪府土地改良事業団体連合会)が開催され、府域の土地改良区役員はじめ、水利組合、市町村担当者約200名が参加しました。

はじめに、主催者から、ため池減災の取り組みについて説明があり、続いて、NPO法人「神戸の絆2005」の大濱義弘様から、阪神・淡路大震災の被災地や避難場所での体験談や教訓について講演がありました。

この研修会を通じ、参加者は安全な地域づくりに向けて、ため池の健全性の向上や、大規模災害時におけるため池(農業用水)の活用等について学びました。



## 平成24年度 換地業務実務研修

平成24年11月6日(火) 午前10時30分から、大阪赤十字会館において、「平成24年度換地業務実務者研修会」を開催し、大阪府、市町村並びに土地改良区職員40名が参加しました。

小谷常務理事の開会挨拶のあと、近畿農政局農村計画部土地改良管理課 松本課長補佐から「交換分合の概要について」講演いただきました。大阪府内においては交換分合事業がさほど普及していませんが、工事を伴うことなく農地の集団化が図られ、さらに低コストで実施が可能なことから、今後、制度の周知がなされ、その有効性が市町村、土地改良区等に認識されれば、ニーズが高まる事業であるとの説明がありました。

続いて、「不動産登記の実務について」大阪法務局民事行政部不動産登記部門 今辻総括表示専門官から講義がありました。

引き続き、「土地改良区の役割」「農地制度の概要について」と題して、全国土地改良事業団体連合会 浦山中央換地センター所長から講演がありました。

### 【土地改良換地士試験の結果について】

平成24年10月21日(日)、全国9カ所の試験会場において、一斉に実施された平成24年度の土地改良換地士資格試験の概要が、農村振興局から公表されました。

受験者は全国で199名と、昨年度より26名多い受験者数でした。結果、合格者は34名で、近畿からは16名が受験され、7名が合格、うち大阪府の合格者は1名でした。



# 平成24年度 農地・水保全管理支払交付金研修会

## 第1回 農地・水保全管理支払交付金研修会

日時：平成24年8月3日(金) 場所：大阪赤十字会館302会議室

常務理事より、2期対策で追加された活動要件（研修会の必須）について水土里ネット大阪としても支援したいとの発案により、研修会の開催に至ったとの挨拶のあと、水土里ネット大阪より『効率的な事務手続きのための支援』として、活動計画から実施状況報告までをエクセルファイルに整理したものを配布し、操作説明を行いました。

次にコンクリートメーカー（株式会社ホクコン）による、ひび割れに対する簡易補修の講義と発砲スチロールを擬似コンクリートに見立てた補修技術の実践を行いました。



最後に、近畿中国四国農業研究センター大田研究拠点畜産草地・鳥獣害研究領域 鳥獣害対策研究グループ井上雅央専門員による、知ってからやる鳥獣害対策と題して、獣害はある意味人が作っているとの視点による、興味深い講義がありました。

## 第2回 農地・水保全管理支払交付金研修会

日時：平成24年9月4日(火) 場所：大原里づくりトライアングル

事務局より出席された大阪府内の活動組織の方々の紹介のあと、大原里づくりトライアングル代表 宮崎良三様(水土里ネット京都大原理事長)から、大原里づくりトライアングルの設立の背景から今日までの苦労話を伺いました。



引き続き、近畿農政局土地改良技術事務所の平林詩朗所長、内田実専門技術指導官施設管理、澤村光治郎建設技術課長の3名を囲んで、活動上困ったことや疑問質問等々、意見交換会を行いました。

## 第3回 農地・水保全管理支払交付金研修会

日時：平成24年11月2日(火) 場所：大阪赤十字会館402会議室

兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部 福嶋昭研究主幹による、楽なアゼ管理と景観づくりのために「こんな植物」「こんな植え方」と題して、グラウンドカバープランツに代表される、センチピードグラスやヒメイワダレソウについて、植生を熟知された研究者の解説は非常に理解を深めることが出来ました。



次に、トライボテックス株式会社の川畑雅彦代表取締役社長による、潤滑油分析によるポンプの非分解診断について講演を頂きました。これは、国内の電力会社すべてに採用されている新技術を農業用ポンプの維持管理にも応用できる新技術として、現在、農業工学研究所と研究開発を更に進めているものです。

## 2012 オアシス・クリーンアップ・キャンペーン in 滝畑

「オアシス構想」推進の一環として、「ため池をきれいにして都市のオアシスにしよう」を合い言葉に、大阪府ため池総合整備推進協議会の主催（大阪府土地改良事業団体連合会後援）により、毎年 11 月に府内全域でオアシス・クリーンアップ・キャンペーンが実施されています。

今年は、11 月 23 日(金)に河内長野市の「滝畑ダム」において、副会長の竹綱富田林市副市長、開催市の芝田河内長野市長、来賓として中村大阪府環境農林水産部長、当連合会の古川会長等が出席して、盛大に開催されました。

式典では、滝畑ダム周辺の美化活動に長年ご尽力してこられた滝畑自治会に「知事感謝状」が贈呈されました。また、茱萸木水利組合に「ため総会長感謝状」が贈呈されました。



## 平成 24 年度 第 1 回 支部事務担当者会議

日 時：平成 24 年 4 月 25 日(水) 午後 1 時 30 分

場 所：創建本町ビル 大阪府土地改良事業団体連合会 会議室

議 題

- (1) 土地改良事業団体連合会の運営について
- (2) 今年度の行事予定について
- (3) 規約・規程に基づく支部の業務について
- (4) 施策提案や要望活動時の旅費支出について
- (5) 21 世紀土地改良区創造運動について
- (6) 農空間保全活動支援事業について
- (7) その他

平成 24 年度第 1 回支部事務担当者会議が、8 支部の事務担当者が出席して開催されました。会議では、本会大塚事務局長が挨拶の後、平成 24 年度の本会組織所掌業務や予算の推移等について説明。つづいて今年度の行事予定並びに研修の案内と併せて多数参加に向けての協力の依頼を行いました。また、施策提案や要望活動及び 21 世紀土地改良区創造運動の発表時に係る旅費について、支部での負担について事務局から依頼を行いました。



## 平成24年度 第2回 支部事務担当者会議

日 時：平成24年7月20日(金) 午後3時30分

場 所：創建本町ビル 大阪府土地良事業団体連合会 会議室

議 題

- (1) 土地改良事業団体連合会の運営について
- (2) 第35回全国土地改良大会について
- (3) 支部交付金・給付金について
- (4) その他

平成24年度第2回支部事務担当者会議が、8支部の事務担当者が出席して開催されました。

まず、事務局長の辞任に伴う、本会組織の所掌握業務の変更報告と、第35回全国土地改良大会の概要説明並びに参加に向けての協力依頼と参加者取りまとめについて依頼を行いました。また、平成24年度当連合会の会費収入確定にともない、各支部への今年度交付金額の説明を行いました。

## 支部協議会だより

### 三島支部

平成24年9月28日(金) 午後1時30分から、神安土地改良区会議室において「平成24年度第2回三島支部協議会」が開催されました。

会員総数17会員中10会員（うち委任状6会員）が出席して開催されました。

- (審議事項) 議案第1号 平成23年度収支決算書の承認について  
議案第2号 平成23年度事業報告書の承認について

平成24年10月25日(木) から26日(金) に平成24年度支部管外研修会が石川県の河北潟干拓土地改良区において視察研修を目的として開催されました。

この研修には、本会の小谷常務理事が参加しました。

### 豊能支部

平成24年5月28日(月) 午後2時から池田市合同庁舎7階大会議室において「平成24年度豊能支部協議会」が開催されました。

- (議 事) 議案第1号 平成23年度事業報告及び収支決算の承認について  
議案第2号 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
そ の 他 情勢報告

## 北河内支部

平成 24 年 6 月 28 日(木) 午後 2 時から枚方市民会館 3 階第 3 会議室において「大阪府土地改良事業団体連合会北河内支部研修会」が開催されました。

(研修内容)

(1) 大阪府内における遊休農地解消の取り組み

講師：大阪府中部農と緑の総合事務所 青山 地域政策室長

(2) 大阪府水土里情報システムの利用について

講師：大阪府土地改良事業団体連合会 小谷 常務理事

小林 副センター長

## 中河内支部

平成 24 年 10 月 26 日(金) 午前 10 時から中河内府民センター3階第 1 会議室において「平成 24 年度大土連中河内支部運営委員会が開催されました。

(議 事) 報 告 1 号 築留土地改良区理事長に 9 月 3 日付にて、中田直良氏が就任。 前木村理事長は大土連理事を 9 月 2 日付けで退任。

議案第 1 号 大阪府土地改良事業団体連合会への理事 1 名選出  
中河内支部の支部長・副支部長について

議案第 2 号 平成 25 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について  
支部会費(16 団体)25 年度会費について

議案第 3 号 支部協議会及び研修会の開催について

## 南河内支部

平成 24 年 11 月 29 日(木) から 30 日(金) に南河内支部研修会が視察研修を目的として福井県大野市の富田土地改良区、九頭竜ダム湖において開催されました。

## 泉北支部

平成 24 年 11 月 28 日(水) 泉北支部研修会が視察研修を目的として、光明池土地改良区において「光明池」ため池減災の取り組みをはじめ貝塚市木積土地改良区開設の「市民農園」、泉佐野市の農産直売所「こーたりーな」等の現地視察を開催されました。

## 大阪府からのお知らせ

### 土地改良法に基づく大阪府知事の認可が必要な手続きについて

大阪府環境農林水産部農政室から土地改良法に基づく大阪府知事の認可が必要な定款の変更等の手続きについて、別紙のとおり指導がありました。

#### 別 紙

大阪府知事の認可を必要とする手続きについて、土地改良区の総会・総代会の議決をもって施行している例が見受けられます。

結果、議決内容が認可要件を満たさない場合は、改めて総会・総代会を開催し議案を諮ることになります。

つきましては、今後予定されている総会・総代会において下記のとおり、知事の認可が必要な議案を提出する場合は、事前に農政室整備課に必要書類や手続きについて事前に相談してください。

#### 記

#### 【大阪府知事の認可が必要な議案】

- (1) 定款（役員選挙規程・選任規程）の変更【土地改良法第30条第2項】
- (2) 維持管理計画の変更【土地改良法第48条第1項】農業用排水施設又は農用地
- (3) 管理規程の設定・変更【土地改良法第57の2第3項】

#### 【認可事務が必要な手続きの流れ】



#### 【連絡先(相談先)】

大阪府環境農林水産部 農政室整備課 計画指導グループ 五味・木内  
TEL：06-6210-9600 FAX：06-6210-9599



# 一般財団法人 大阪府みどり公社からのお知らせ



環境省委託事業

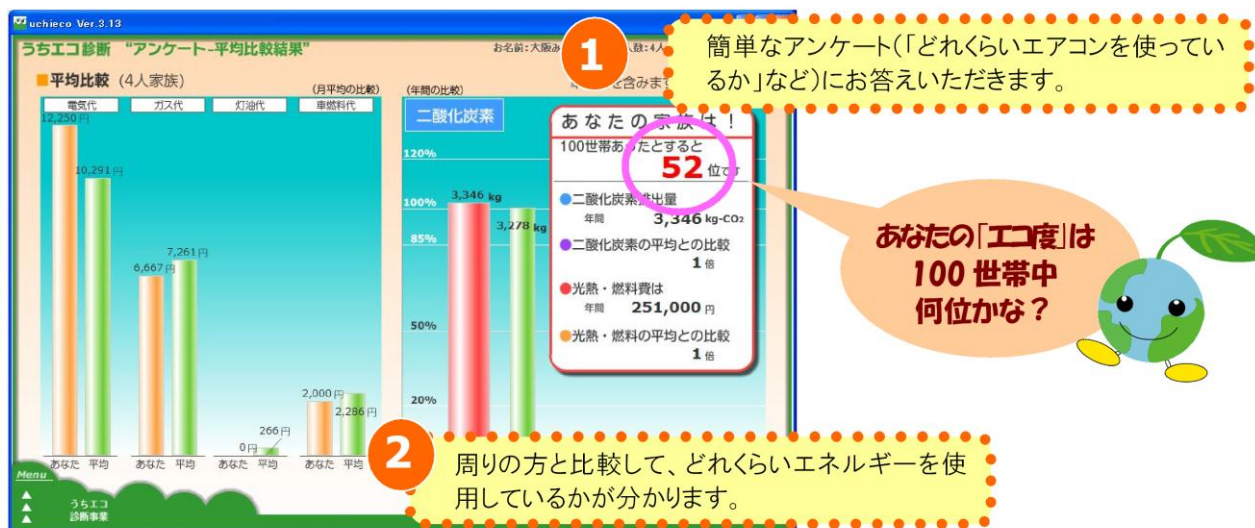
あなたのくらしをもっと **エコ** に！もっと **おトク** に！

診断  
無料

## うちエコ診断 やっていませんか？

### うちエコ診断とは・・・？

うちエコ診断員が専用の診断ソフトを用いて、あなたのエコロジー度などをお知らせし、あなたの家にぴったりの省エネ・省CO<sub>2</sub>対策を提案します。「省エネで、いくら光熱費がおトクになるの？」という疑問にお答えします。



### ●申し込み・お問い合わせ

一般財団法人大阪府みどり公社 大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
〒541-0054 大阪市中央区南本町二丁目1番8号 (創建本町ビル5階)  
TEL: 06-6266-1271 FAX: 06-6266-8665  
E-mail: center@osaka-midori.jp  
URL: <http://osaka-midori.jp/ondanka-c/uchieco/>

# 土地改良施設維持管理適正化事業とは

《土地改良施設の定期的な整備補修のために活用してください》

## ＜事業内容＞

土地改良施設維持管理適正化事業（以下「適正化事業」）とは、土地改良施設の機能低下の防止や機能回復のため、定期的に行う必要のあるポンプの オーバーホール、ゲートの塗装、用排水路の補修、その他の整備補修及び設備改善に対して助成する事業です。

適正化事業は一般の補助事業とは異なり、土地改良区等の拠出金により、互助的に整備補修を実施する事業です。具体的には、整備補修を希望する土地改良区等が「適正化事業」に加入し、向こう5年の間に整備補修を行うための必要な経費の一部（30%）を毎年均等に積み立て、その積立期間内の定められた年度に整備補修等を行うものです。

## ＜事業主体＞

市町村、土地改良区等の土地改良施設管理団体

## ＜採択基準＞

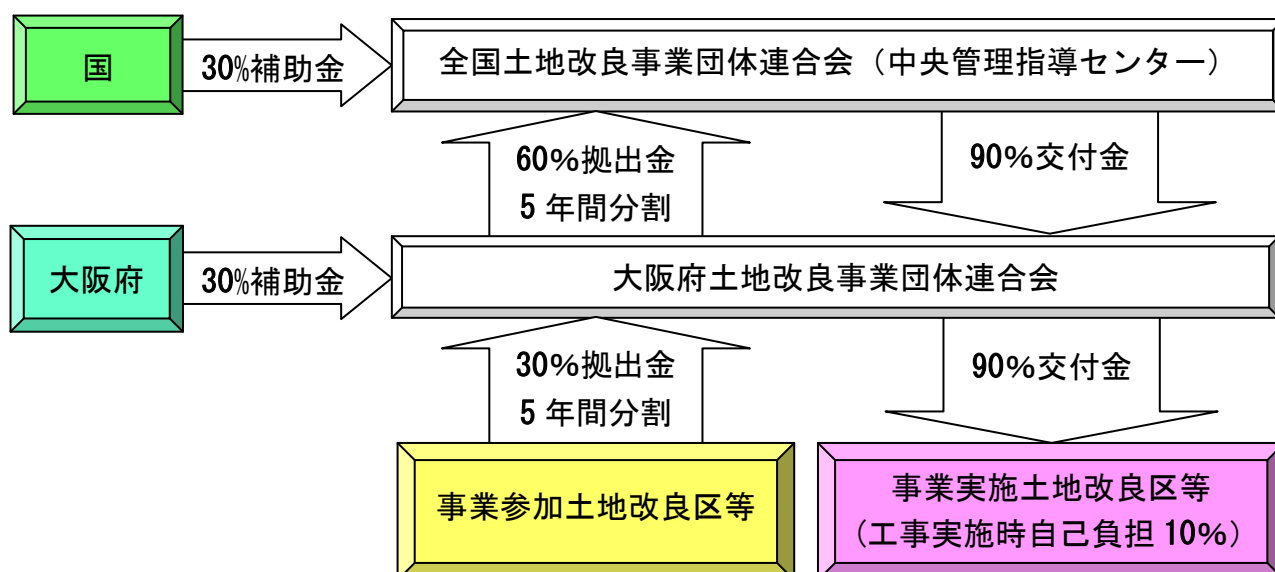
- 団体営規模以上の土地改良事業により造成された農業水利施設
- 1施設当たりの事業費が200万円以上の整備補修等

注）なお、適正化事業を実施するには当会の診断・管理指導を受ける必要があります。

事業名	積立期間	補助率		加入者拠出金	拠出金以外の自己負担 ※
		国30%	府30%		
適正化事業	5年	60%		30%	10%

※工事を施工する年度に加入事業費の90%の額が全土連から府土連を通じて事業主体に交付されます。残りの10%に相当する額は、事業主体（土地改良区等）が調達することになりますが、(株)日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の融資が受けることができます。

## 資金造成のしくみ



## 大阪府土地改良事業団体連合会理事の退任

大阪府土地改良事業団体連合会理事の[退任] 木村 彰 理事 (H24.9.2)

## 土地改良区理事長および農業協同組合長の就任・退任

茨木市農業協同組合 [退任] 小西登 組合長 ⇒[就任] 藤本浩次 組合長 (H24.6.26)  
 築留土地改良区 [退任] 木村彰 理事長 ⇒[就任] 中田直良 理事長 (H24.9.3)

理事長や組合長が就退任された場合は、当連合会にもご連絡ください。

## 土地改良相談

当連合会では、会員の方々が行う土地改良事業(施設の管理も含む)や土地改良区運営に関する相談をお受けいたしております。定期的に毎月 5 日、20 日、両日とも休日であれば 20 日以降直近の平日に相談窓口を開設しておりますので、お気軽にご相談下さい。

## 今後の行事予定

12 月 3 日 (月)	平成 25 年度概算要求に係る要望
12 月 11 日 (火)	平成 24 年度 21 世紀創造運動中央選考委員会
12 月 13 日 (木)	第 3 回支部事務担当者会議
1 月 9 日 (水)	平成 25 年 新春互礼会
1 月 29 日 (火)	21 世紀土地改良区創造運動セミナー
2 月 18 日 (月)	第 3 回 技術力向上事業研修会
2 月	第 4 回 監事会
2 月	第 3 回 理事会
3 月 26 日 (火)	第 55 回 通常総会・水土里情報運用協議会



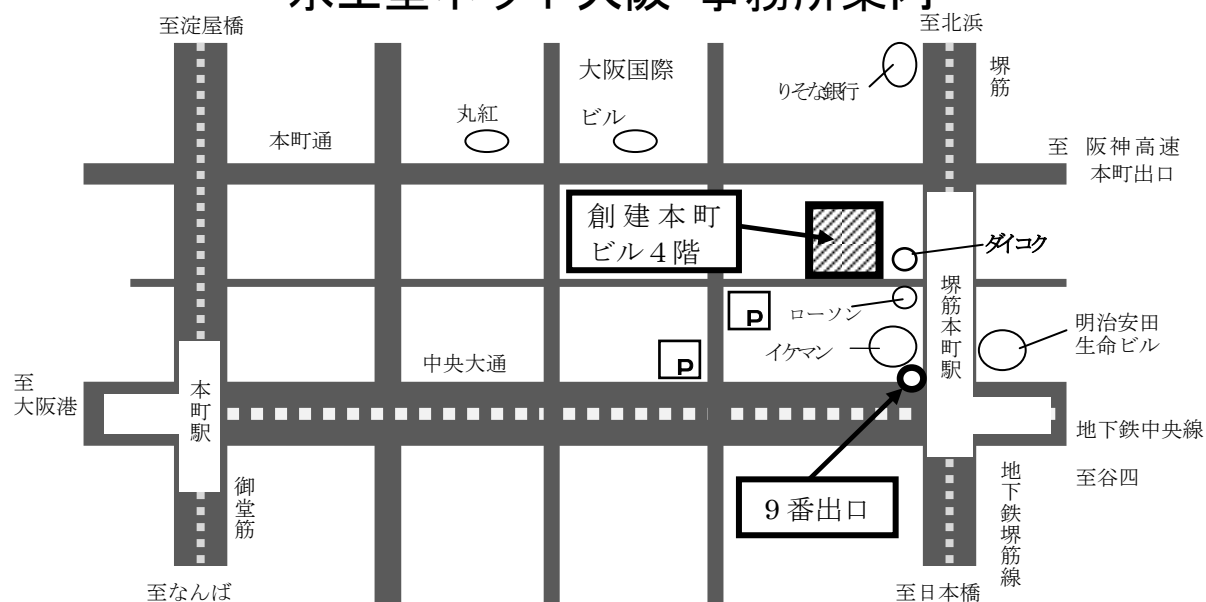
## ホームページリニューアルのお知らせ

大阪府土地改良事業団体連合会（水土里ネット大阪）のホームページを全面リニューアルいたしました。

リニューアル期間中はご迷惑をおかけしておりましたが、この度すべての作業が終了しました。今後は当サイトにて、本会の情報（水土里情報システムページよりニュースレター等）を更新してまいりますので、よろしくお願いいたします。

<http://www8.ocn.ne.jp/~daidoren/>

### 水土里ネット大阪 事務所案内



地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅 9番出口より  
北へ徒歩2分 ドラッグストア ダイコク（薬局）左隣

### 旅のことなら JTB 総合提携店(株)トラベルフューチャーへ！

私たちが皆さまのいろんな旅のサポートをさせていただきます。

- ① JTB の旅行パンフレット OK！
- ② 会社の慰安旅行のご依頼 OK！
- ③ ご出張の手配 OK！
- ④ 子供会や老人会等のグループ旅行 OK！
- ⑤ 新幹線のチケットだけ飛行機のチケットだけもちろん OK！

出来る限り全力でお手伝い致します。

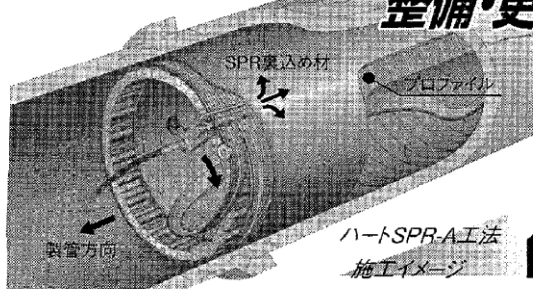
〒599-8114 大阪府堺市東区日置荘西町 2-3-2  
TEL 072-287-2490 FAX 072-287-2492

SEKISUI

# 非開削で農業用パイプラインを 整備・更新。長寿命化!

SPR

エスロンタイムズ on the Web  
http://www.eslontimes.com



- 抜群の水密性で漏水・浸入水を防ぎます。
- 円形、馬蹄形、矩形などあらゆる形状の管路の更生が行えます。

適用既設管径：φ900～φ5000 mm

農業用パイプライン更生

## SPR-A工法

農業水利ストックの有効活用に!

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー西日本支店  
近畿官需営業所 〒530-8565 大阪市北区西天満 2-4-4 TEL:06(6365)4532

## 測量の新時代!

# MMS でコストダウンと作業効率を向上

モバイル・マッピング・システム

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、農道高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報(3次元情報)を取得し、短工期で高精度なデータをお客様に提供します。



株式会社パスコ

〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町 1-2-3 マルイト難波ビル 8F 問合せ：06-6630-1903

PASCO  
World's Leading Geospatial Group

「お隣との境界はどこなのかな?」 「相続や売買で土地を分けたいけれど・・・」  
「境界杭がない・・・」 「建物を新築・増築・取壊しされた時など」

**こんな問題は土地家屋調査士にお任せ下さい!!**

土地建物調査測量・各種境界確定  
筆界特定手続き・各種登記申請

**小森登記測量事務所**

〒615-8238 京都市西京区山田車塚町15番地48

TEL:075-382-1655 FAX:075-382-1656 E-mail:komori-sokuryou@maia.eonet.ne.jp

測量・土木設計・各種許認可申請

**K R C o f f i c e**

〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上る春帯町351番地1

TEL:075-744-1016 FAX:075-744-1017 E-mail:komori-sokuryou@maia.eonet.ne.jp

土地家屋調査士 小森 彰

水門設計 製作施工 保守点検  
(小型水門・ため池修繕・取替)

# 株式会社 アグリ工業

〒590-0066 大阪府堺市堺区賑町3丁4番16号

TEL072-232-4547 FAX072-232-2076

メールアドレス kimiyoshi22@vanilla.ocn.ne.jp